

# 公共施設太陽光発電設備等導入調査について（報告概要）

## 【1、目的】

2030年度及び2040年度を見据え、公共施設等に太陽光発電設備等を効果的かつ効率的に導入するため、施設の立地条件や各種法令上の制限・規制、設置の際の施設への影響、設置方法や発電量のシミュレーション、二酸化炭素排出量の削減効果等を考慮した導入可能性について調査を実施した

## 【2、調査】

期間：令和7年7月～令和8年1月

委託事業者：エヌエス環境株式会社

委託金額：7,167千円（国交付金3/4・5,375千円。当初予算9,555千円）

調査内容：(1) 57施設において書類等を用いて設置可能性を検討

(2) 導入効果の高い23施設を抽出し、現地調査を実施（令和7年9月～10月）

(3) 23施設から難易度が低く、必要性の高い10施設を抽出し、導入計画案を作成

## 【3、導入計画案】

蕨市の公共施設等に太陽光発電設備等を整備するロードマップ、環境省の補助金要件、「2026～2030年度までに設置可能な建築物へ約50%の導入を目指す（2028年度までに約25%の導入を目指す）」、「2040年度までに設置可能な建築物へ100%の導入を目指す」を踏まえ導入計画案をまとめた。順番は費用面、環境面を考慮したが、今後の屋上防水改修や施設の耐用年数を踏まえ柔軟に対応していくこととする。

《表：設置可能施設への太陽光発電設備の導入計画案 ※設置はいずれも校舎屋上または建物屋上》

年度	施設名
2027-2028	北町コミュニティセンター
2029-2030	東小学校
	中央コミュニティセンター
	第一中学校
2031-2040	塚越小学校
	第二中学校
	東中学校
	南小学校
	中央小学校
	総合社会福祉センター